

AvePoint

Cloud Management

リリースノート



2018 年 5 月リリース版

新機能と強化点

- 異なるオブジェクト タイプに対して個別のサービス アカウント プールを利用することが可能になりました。Office 365 サービス アカウントおよび Office 365 製品ライセンスに対する要件は、オブジェクト タイプによって異なります。
- コンテンツ マネージャー** で、**高速移行** を使用してアイテムおよび添付ファイルをコピー・移動することが可能になりました。
- AvePoint Online Services によってスキャンされたチームが **既定の Office 365 グループ メールボックス コンテナ** および **既定の Office 365 グループ チーム サイト コンテナ** に同期される機能が追加されました。
- セキュリティ検索** のダウンロードおよびエクスポート機能が改善されました。
- Policy Enforcer ジョブでトリガーされた違反数が制限を超過すると、ユーザーに最大 500 件の違反を含むメールが送信されるようになりました。すべての違反を表示するには、AvePoint Cloud Management 管理者に連絡する必要があります。
- 管理センター** の **セキュリティ検索** の効率が向上しました。セキュリティ検索プランで **継承した権限を含む** オプションが選択されていない場合、継承が解除されたアイテムを含まないリスト・ライブラリの検索結果にアイテムの詳細情報は表示されません。
- 以下の操作のパフォーマンスが改善されました。
 - 大量のノードを含む **セキュリティ検索** プランのジョブ開始
 - ジョブ モニターで大量のノードを含む **セキュリティ検索** プランのジョブ詳細表示
 - AvePoint Cloud Management に大量のノードが存在する場合の **ツリー ビュー** を利用したノード読み込み
- 数値フィールドに対する入力制限が追加・更新されました。
- AvePoint Online Services 画面で構成されたセッションタイムアウト設定が反映されました。
- 動的オブジェクト登録設定が **コントロール パネル** から削除されました。ただし、コントロール パネル内の **動的オブジェクト登録設定** を使用している既存のユーザーに対しては、この設定はそのまま利用可能です。
- レポート ポイント > 管理レポート > 構成レポート** に、以下のレポート タイプに対する警告メッセージが追加されました。
 - サイト コレクション > 統計**

- **サイト コレクション > SharePoint ストレージ レポート**
- **サイト > 統計**
- **サイト > SharePoint ストレージ レポート**
- **リスト > SharePoint ストレージ レポート**
- **外部共有ドメイン設定** 構成レポートで外部共有ドメイン設定を表示することが可能になりました。この設定には、サイト コレクションでの外部共有に対するドメイン制限の構成状況および許可されている / ブロックされているドメインが表示されます。
- **監査マネージャー レポート の 表示** アクション データの取得方式が更新されました。

既知の問題

- AvePoint Cloud Management 画面で **コンテナの作成** 機能を使用してサイト コレクションを作成する場合、SharePoint Online 環境への接続にカスタム Azure アプリケーションを含むアプリ プロファイルを使用することはできません。
- 新しいテーマ カラーを適用することで Office 365 グループ チーム サイトの外観を変更しており、かつコンテナ レベルの競合解決として **マージする** が選択されている状態で、Office 365 グループ チーム サイトを展開先 Office 365 グループ チーム サイトに展開すると、テーマの色が展開先に展開できません。
- アプリ プロファイル認証方法を使用して OneDrive for Business をスキャンする場合、レポート ポイント内の **データの取得** 機能を OneDrive for Business に対して使用することはできません。この問題はアプリ プロファイルが監査ログを取得できないことに起因します。
- アイデンティティ マネージャーが Office 365 からライセンス情報を取得できる製品バージョンは、Office 365 Enterprise E3、Office 365 Enterprise E5、Azure Active Directory Premium Mobility Suite、Azure Active Directory Enterprise Mobility Suite です。
- 以下のアクションを実行する場合、移動元フォルダーと移動先フォルダーが競合していない状態で、フォルダー レベル間の **コンテンツ マネージャー** ジョブを実行します。**コンテナ レベルの競合解決** として **スキップする** が選択されている状態で、**下位オブジェクトを確認する** チェックボックスを選択解除します。ジョブの完了後、フォルダー競合のため、ドキュメントが移動先にコピーされません。
- サイト コレクション レベルで発行機能をアクティブにしていない移動先に Web パーツの **目次** をコピー / 移動することができません。

対処法: 移動先サイト コレクションで発行機能をアクティブにします。

- 移動元ノードレベルが移動先ノードレベルと同じである場合、**コンテンツ マネージャー** ではコンテナレベルの競合として扱われます。これは既定の論理です。**バージョン設定** 画面で、**コンテンツの承認、ドキュメントのバージョン履歴、下書きアイテムのセキュリティ** セクションのうち、いずれか 1 件のセクションで **[すべてを既定値に設定する]** をクリックすると、この 3 箇所のセクションの設定がすべて既定値に設定されます。これは API の制限に起因します。
- 多数のアイテム (5,000 アイテム以上) をコピーする場合、コピー先にアクセスできなくなることがあります。この場合、「429 TOO MANY REQUESTS」とメッセージが表示されます。この問題を防ぐため、営業時間内に大規模なジョブを実行しないことを推奨します。

原因: これは SharePoint の調整制限によるものです。詳細については [https://msdn.microsoft.com/JA-JP/library/office/dn889829\(v=office.15\).aspx](https://msdn.microsoft.com/JA-JP/library/office/dn889829(v=office.15).aspx) を参照してください。ジョブの完了後、対象サイトへのアクセスが可能になります。

- SFTP ストレージ タイプの物理デバイスを構成し、SFTP サーバーが freeSSHd である場合、パスワードおよびプライベート キー ファイル (.ppk file) の両方を同時にテストすると、テスト結果は失敗となります。

原因: SFTP では、.openssh 形式のプライベート キー ファイルのみに対応しており、PuttyGen によって生成された .ppk 形式のプライベート キー ファイルには対応していません。

対処法: プライベート キー ファイルの形式が .ppk である場合、PuttyGen を使用して .openssh ファイルに変換します。

- 使用中にネットワーク分断が発生した場合、**ジョブを開始しました** または他の操作インジケーターが通知ペインで正常に表示されない可能性があります。通知の表示に失敗しても、ジョブは正常に開始されており、ジョブ モニターで追跡されている可能性があります。操作の再開または新しいレポートのエクスポートを実行する前にジョブ モニターを確認することが推奨されます。
- SharePoint Online サイト コレクションの URL に特殊記号 [~] が含まれている場合、このサイトコレクションのストレージ クォータは **レポート ポイント > 管理レポート > 構成レポート** 内のレポートに記載されません。この問題は SharePoint Online の API 制限により発生します。
- [workflow;open a] というテキストが含まれる名前でプランおよびプロファイルを作成すると、保存時にエラー メッセージが表示されます。これは、[workflow;open a] が Windows ファイアウォールのルールの起動に使用されるコマンドであるため発生します。
- AvePoint Cloud Management では、サイト コレクション管理者またはそれ以上の権限を持つユーザーのみが SharePoint Online サイト コレクションの登録を行うことができます。

- SharePoint Online では、5000 以上のアイテムを含むリストの継承を解除すると、ジョブが失敗となります。この問題は SharePoint Online の制限に起因します。
- フィルター ポリシーを正しく構成しジョブを正常に実行させるには、フィルター ポリシーの構成時、**値列**にはパーセンテージではなく小数点の表示形式で入力する必要があります。
- 移動元サイトを移動先サイト コレクションへマージする場合、移動元サイト管理者は移動先サイト コレクション管理者へ昇格しません。このため、移動元サイト管理者には移動先サイト コレクションへのアクセス権限はありません。移動元サイトは移動元サイト コレクションで設定された権限をそのまま継承します。

対処法: 移動元サイト コレクションを移動元ノードとして選択し、移動元のすべての権限を移動先サイト コレクションへコピー・移動します。

- クライアント API 制限により、制限付きアクセス権限のリストには対応していません。例えば、移動元サイト内でアイテムの権限継承を解除し、セキュリティ グループを追加、権限の編集を行います (SharePoint Online では制限付きアクセス権限の選択は必須)。コンテンツ マネージャーを使用し、コンテナ レベルの競合解決では **マージ** を選択、コンテンツ レベルの競合解決では **上書きする** を選択して移動元サイトを移動先サイトへマージした場合、制限付きアクセス権限は移動先へコピーされません。
- 監査設定のレプリケートには対応していません。レプリケート元サイト コレクション内の監査設定がレプリケート先にレプリケートされません。クライアント API の制限により、**Audit**、**TrimAuditLog**、**Site.AuditLogTrimmingRetention** の **Microsoft.SharePoint.Client.Site** 属性はレプリケート中に取得できません。
- 個人用ビューは他のユーザーがアクセスできないプライベート リソースのため、コピー・移動することができません。例えば、移動元ノードとしてリストを選択し、移動先ノードとなるリストを手動で入力します。コンテナ レベルの競合解決では **マージ** を選択、コンテンツ レベルの競合解決では **上書きする** を選択してから、コピー・移動ジョブを実行すると、サイト コレクションに登録していないユーザーの個人用ビューは移動先にコピー・移動されません。

通知: 本書に含まれる内容は AvePoint Japan が所有かつ提供し、AvePoint Japan およびライセンス所有者に帰属します。本書の内容は著作権および商標登録およびその他所有に関わる法律によって保護されます。本書に掲載する通知および著作権の情報のいかなる削除ならびに変更も禁じます。

著作権: Copyright© 2018 AvePoint Japan K.K. All rights reserved. 本書の著作権は AvePoint Japan 株式会社に帰属します。本書に掲載されている情報はすべて日本著作権法において保護されており、内容の無断複製、更新、転載を禁じます。本書のいかなる部分、いかなる書式および電子通信、機械的送信、複製、記録などのいかなる方法、あるいは AvePoint Japan 株式会社 (〒 108-0074 東京都港区高輪 4 丁目 10 - 18 京急第一ビル 11 階)、ならびに本書に掲載する情報がサードパーティに所有される場合サードパーティによる事前の文書による許諾なしに複製、保存、送信を禁じます。また上記の如何に関わらず、本発行物内の AvePoint 関連の情報 (派生物及び変化物を含む) の何人による複製及び転載も禁じます。また、如何なる複製物並びに転載物も自動的に AvePoint に属するものとし、該当者または継承者、担当者、相続者、恩恵者、実行者のいずれも該当複製物並びに転載物を直ちに AvePoint へ返却し、必要書類に署名することに同意するものとします。

商標登録: AvePoint[®]、DocAve[®]、AvePoint ログおよび AvePoint ピラミッド ログは AvePoint Japan 株式会社による日本特許庁登録済みの商標です。これらの登録商標および本書に使用されている他の商標はすべて AvePoint の専有プロパティであり、文書による許諾なしには使用できません。

Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Office、Office 365、SharePoint、Windows PowerShell、SQL Server、Outlook、Windows Server、Active Directory、Dynamics CRM 2013 はマイクロソフト株式会社の商標または登録商標です。

Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は Adobe Systems, Inc の商標です。

その他本書に掲載されている商標はすべて該当の所有者のプロパティであり、許諾なしに使用することを禁じます。

変更: 本書の情報は情報提供のみを目的とし、通知なしに変更または更新される場合があります。当社では最新、そして正確な情報を提供するよう努力しておりますが、あらゆるコンテンツの誤りもしくは脱落に起因する間接的、派生的に生じた損害に対し、一切の責任を負わないものとします。当社は、ユーザーに対し予告、通知をすることなく AvePoint ソフトウェアのグラフィック ユーザー インターフェイスを変更する権利を所有しています。

V: 05242018_JP_01

AvePoint Japan 株式会社

〒 108-0074

東京都港区高輪 4 丁目 10-18

京急第一ビル 11 階